

学校経営

1 学校教育目標

ふるさとに誇りをもち 人のため社会のために役立つ 心豊かな生徒の育成

2 校訓とめざす生徒像

真理の探究 生涯にわたって学び続けようとする生徒

勤労の愛好 自ら進んで仕事や奉仕活動をする生徒

協同の学園 自他を大切に研かれた人権感覚をそなえ、助け合いながら切磋琢磨する生徒

3 めざす学校像

○ 生徒が明るく、元気にチャレンジしていく学校

○ ふるさとに愛着と誇りをもつ生徒を育てる学校

○ 教職員が切磋琢磨し、生徒と共にチャレンジする学校

4 めざす教職員像

○ 人間性豊かで、生徒と共にあり、共に学び、ふれあい、伸びる教職員

○ 研修に励み、専門的知識・技能の向上に努力める教職員

○ 教職員の使命を自覚し、保護者、地域から信頼される教職員

5 学校経営方針

人権尊重の精神を基盤とし、「絆」を大切にした教育を推進するとともに、地域とともにある
創意と活力のある学校づくりに努める。

～ チームワークで《チーム掛合中・チーム掛合》で

子どもたちの育ちを支援し、掛合中教育を進める～

6 経営の重点と具体的な取組

(1) 基礎的な学力の定着と学習習慣の確立と、思考力・判断力・表現力等の育成

①基礎的な学力の育成と学習習慣の確立

- ・ 基礎的・基本的な学習内容についての繰り返し学習や補充学習を取り入れ、放課後学習などを活用した個に応じた指導の徹底
- ・ 学習習慣を身につけさせるため、教科のバランスや分量、内容に配慮した課題の工夫と家庭学習の具体的な指導と点検評価の実施（月例全校一斉テスト）

②新学習指導要領に即した思考力・判断力・表現力等の育成

- ・ 授業の中で、獲得した知識や技能を「活用する場面」や「思考場面」を積極的に設定し、全ての教科における「言語活動」を重視した学習の展開
- ・ 課題発見力、課題解決力育成のため、体験的な学習を通じた探究的な学びの展開（自然体験、文化体験、職場体験、福祉体験など）
- ・ 課題解決場面における、積極的な図書館を活用した学習の展開

(2) 生徒理解の推進と個に徹したきめ細かな指導

①生徒理解の推進

- ・ 日頃から生徒の声に耳を傾け（日記指導）、対話や計画的な教育相談を通じた共感的理解の推進
- ・ 研修や日々の情報交換（職員朝礼）を通じた特別な支援の必要な生徒についての理解の推進
- ・ 特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー等との情報共有やケース会議、それぞれの立場での対応とコンサルテーションの実施

②個に徹したきめ細かな指導

- ・ 生徒の「困り感」をとらえた聴覚・視覚・触覚などの生徒の特性を踏まえた指導
- ・ 個に応じた支援についての情報共有と組織的な支援および家庭や関係機関との連携

(3) 温かい人間関係と自治的な能力を培う学級・学校経営

①温かい人間関係の育成

- ・ 全教育活動を通じた道徳教育や人権・同和教育の推進と、違いを認め合い、温かい言葉による絆および「折り合いを付ける力」を重視した集団づくり
- ・ 生徒相互の心をつなぎ、教師自身も自らの道徳観と向き合う「道徳の時間」の実践

- ・ 生徒・教職員が一人一人を大切に、差別やいじめをゆるさない、見逃さない力を高める取組と事案への速やかな組織的対応（生徒・保護者へのアンケート活用）

②自治的な能力の育成

- ・ 互いに共感的に自己主張をしながら、学校や学級をよくしていこうとする力の育成をめざした、積極的な「話し合い活動」の推進
- ・ 社会規範や挨拶（語先後礼）等のマナーに関心を持ち、ルールを守っての生活の推進
- ・ 社会貢献の精神育成のためのボランティア活動の推進
- ・ 生徒の自主的・自発的な参加によりスポーツや文化に親しませ、学習意欲の向上や責任感・連帯感を育成する部活動の推進

③いのちを大切にす教育の推進

- ・ 道徳教育の充実や「弁当の日」を設け、食を通した命の学習の推進
- ・ 生活習慣の見直し（早寝、早起き、朝ご飯、睡眠）や優れた実践の推奨

（４）４校園（保育所・小学校・中学校・分校）の連携教育と開かれた学校づくり

①校区の４校園との連携

- ・ 「掛合の子どもを育てる会」、「掛合地区学校運営協議会」および「４校園幹事会」を中心とした、校区内保育所・学校との教育理念の共有と行動連携の推進
- ・ 校種を越えた子どもの理解を深めるため、校区内保育所・学校間の授業交流の推進

②開かれた学校づくり

- ・ 地域の一員としての自覚を深めるため、地域におけるボランティア活動や体験学習などを通じた、地域の「ひと・もの・こと」を生かしたふるさと教育の推進
- ・ 夢発見プログラムの実践
- ・ 保護者や地域への積極的な学校公開と広報活動の実施（たより、学校公開日）
- ・ 教職員が地域の一員として地域に出向いていく機会の設定

（５）安心・安全で、落ち着いた教育環境の整備

①安心・安全で、落ち着いた教育環境づくり

- ・ きれいな学校づくりに努め、身の回りの生活の安全、交通安全、防災に関する指導の実践
- ・ 危機管理意識に基づく、校舎内外の定期的な点検と改善の実施

②適切な言語環境づくり

- ・ 学習への活用や読書の推進に向けた、図書や図書館の整備
- ・ 生徒と教職員、生徒相互の適切な話し言葉の実践
- ・ 校内掲示、配付物等、適正な用語や文字を使用した掲示の実践

（６）教職員の資質の向上

- ・ 年間を通した服務に関する研修やOJTによる研修の実施
- ・ 教科を越えた取組による全教員の研究授業の実施（校内研究授業全員実施）
- ・ 報告・連絡・相談が気軽にできる職員室風土の醸成
- ・ 校務を見直し、教職員や生徒の負担軽減をめざした働き方改革の実施